

別記様式(第4条関係)

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回加東市学校給食センター運営委員会
開催日時	令和4年7月14日(木)午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	加東市学校給食センター 会議室
議長の氏名 (委員長 後藤浩美)	
出席及び欠席委員の氏名	
【出席委員】8名	
森下智行委員 後藤浩美委員 大江みさ子委員 藤原良二委員 長谷川貴典委員	
長谷川昌美委員 山中元委員 藤原正典委員	
【欠席委員】1名	
説明のため出席した者の職氏名	
なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
教育長	藤原哲史
教育振興部長	田中孝明
教育振興部教育総務課長	前中公和
教育総務課学校給食センター所長	大久保めぐみ
同 主査	堀内千稔
同 食育推進専門員	神戸成企
同 栄養教諭	中野芽依
同 栄養教諭	田路永子
同 栄養教諭	丸山莉穂
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	
1. <<議題及び会議の結果>>	
【審議の概要】	
第1号議案 役員改選	
加東市学校給食センター運営委員会	
1 委員長 後藤浩美 (滝野中学校長)	
2 副委員長 大江みさ子 (滝野南小学校長)	

3 物資調達部会

会長 大江みさ子（滝野南小学校長）

委員 藤原良二（三草小学校長）

委員 山中元（福田小学校PTA会長）

委員 藤原正典（三草小学校PTA会長）

第2号議案 令和3年度学校給食センター事業報告

・承認

第3号議案 令和3年度決算及び学校給食費の状況

・承認

第4号議案 令和4年度学校給食センター事業計画

・承認

第5号議案 令和4年度予算

・承認

2. ≪会議の経過≫

【開会】

・あいさつ 藤原哲史教育長

・自己紹介

【議事】

事務局：出席委員8名、欠席委員1名のため、本日の運営委員会は過半数の出席をいただいておりますので、学校給食センター規則第13条第2項の規定に基づき会議は成立いたします。

本日が役員改選を行う今年度初めての会議ですので、役員が決まりますまでは事務局が議事進行を務めます。第1号議案役員改選について、本運営委員会の委員長及び副委員長並びに物資調達部会長と部会委員の選出について、委員の皆様からご意見等ございますか。

委員：（発言なし）

事務局：事務局案として給食担当をしていただいております、滝野中学校長の後藤委員に委員長を、同じく滝野南小学校長の大江委員に副委員長をお願いしたいと考えています。また、物資調達部会の会長に大江委員、部会委員に三草小学校長の藤原委員、福田小学校PTA会長山中委員、三草小学校PTA会長藤原委員の皆様をお願いしたいと考えています。ご異議はございませんか。

委員：（異議なし）

事務局：ご意見ご異議ないようですので、第1号議案役員改選は承認といたします。

以下の議事につきましては、会議は規則により委員長が議長を務めるということになっておりますので、ここから先は委員長にお願いします。

議長：議事が円滑に進行しますように皆様のご協力をよろしくお願いいたします。進行に当たり、事務局の説明については、時間短縮を図るために要点のみの簡潔な内容でお願いします。委員の皆様には、ご不明な点等ございましたら、遠慮なくご質問ご意見をいただきますようお願いいたします。では、第2号議案令和3年度学校給食センター事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：(資料を用いて説明)

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：(発言なし)

議長：意見がないため第2号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：第3号議案令和3年度決算及び学校給食費の状況について説明をお願いします。

事務局：(資料を用いて説明)

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：(発言なし)

議長：意見がないため第3号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：第4号議案令和4年度学校給食センター事業計画について説明をお願いします。

事務局：(資料を用いて説明)

議長：ご意見ご質問がありましたらお願いします。

委員：(発言なし)

議長：意見がないため第4号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：第5号議案令和4年度予算について説明をお願いします。

事務局：(資料を用いて説明)

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：(発言なし)

議長：意見がないため第5号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：では以上で決議事項についてはすべて承認です。ありがとうございました。これで進行を事務局にお返します。熱心なご審議おつかれさまでした。

事務局：せっかくの機会です。本日の議事以外でも結構ですので、委員の皆様からそれぞれ学校給食に関するご意見ご感想など頂戴できればと思いますので順によりしくお願いします。

委員：今、食材とか結構値が上がっていますよね。油とかマヨネーズとか何とかもどんどん上がっていますが、このままの給食費で大丈夫なのですか。

事務局：確かに、今年度に入って4月以降も食材が明らかに高騰している状況が続いており、相当お金を使っております。今後、世界的な情勢なのでどうなっていくか読めないところ

もありますが、しばらくはこの状態が続くのではないかということで、国の交付金を活
した取り組みの検討を行っているところです。

委員：給食費を上げるという手段は考えていかないのですか。

事務局：給食費の値上げとなると大きな話になりますが、上げなくて済むものなら上げたくは
ありませんので、上げない方向での予算要求を行っております。ただ、どこまでもこの
市費での対応というのは難しく、県下でも最も安い給食代ってということで、京阪神とか
は 300 円台とかのところもありますので、いつまでもこの金額でやっていくというの
は無理があると考えています。

委員：市の負担とか、これがずっと続いたら、納税者側の立場からしてもやっぱり考えます。
子どものいない家庭もあります。もちろん何かの補助があるとかだったらいいかもしれ
ないけど、市の考え方としてはどうなのかなと思って質問しました。

委員：給食費の未徴収の金額も多い中、本当に様々な工夫をしていただき、子どもたちが家
庭で口にしないような献立もたくさんあって、給食センターの様々な取り組みによっ
て、子どもたちにとっては大切な学習になっているということを普段から感じていま
す。先日も期間限定の調査の取組みがあり、子どもたちが給食を全部食べたことで、
子どもたちに給食センターから表彰状をいただき、そういうようなこともとても励み
になっていますし、また 3、4 年生の食育の学習に、様々なだしの材料を使って実際
にだし汁をとる実習をして、それを飲み比べて感想を述べ合うというようなことも教
えていただきました。そして今日のこの今年度の給食事業等の説明を受けると、やは
り学校給食を通して子どもたちを育てることが大切だと感じています。ですから、
これからも給食センターの皆さんにもっと学校にも来ていただいて、子どもたち
や教師に食を大切にすることを教えていけたらなと思いました。

委員：いつも完全給食で提供いただきましてありがとうございます。やっぱり子どもたちも
保護者もとても助かっているというか、給食を楽しみにして学校に来ている子がほと
んどだと思います。一方でこの 12 トンの残菜量。これも指導者としてもちょっと心
が痛みますが、ご説明の中にもあったと思うのですが、コロナであまり長く給食時間
を引っ張らないようにとか、黙食でもくもく何も言わないで食べるとかという工夫を
したりして、一方では、苦手な食べ物をハラスメント的な、あまり過度な負担になる
ようになることも、それで給食が嫌だから学校に行きたくないって言われてもそれも
困るので、その辺のさじ加減を考えながら現場で指導しているところです。普段から
子どもにとって食べやすい給食とか、或いはこんな食材もこんな食べ方もあるとい
うような提案もしていただいております。子どもたちがまた楽しみが続くように取り組んで
いただけたらと思います。

委員：給食費、小学校の場合 210 円で先ほどからずっと出ている県下でも最も安い地域とい
うことで、ただ 210 円だから値段に合わせた質や量というわけではなく、文科省で決
まっている栄養摂取量の計算をしながら、そしておいしい給食を提供していただい
ていることいつもありがたく思っています。そんな中で、残菜量について、なかなか、

無理に食べさせることもできないし、単純に残菜量を減らそうと思ったら、よく食べる子がたくさん食べれば単純には減るのですが、ただそれではやっぱり食育としてもなかなか成立しないので、一人一人がもう一口頑張って食べようというような、そういう取り組みをしながら残菜量を減らしていこうと考えています。あとは給食の提供というだけではなく食育について、例えば朝ご飯を食べることの大切さ、給食とは直接関係はない部分ではありますが、朝ご飯を食べることによって、子どもたちにとってプラスになるということをお話してもらったり、訪問の時にお菓子の食べ方を教えてくださいなど、学校職員が話すよりも、給食センターの専門の方、栄養教諭が来ていただいてお話をすると、子どもたちは違う視点でしっかり聞いていますので、そういう取り組みもいつもありがたく思っています。

委員：私は小さいときから、小学校中学校と給食がなかった学校で育ってきました。子どもができて、小学校に入って一緒に給食を食べる行事に参加した時に初めて給食をいただいたのですが、その時に本当においしかったことを覚えています。給食費も本当に安くしていただいているなっていうのも感じています。夏休みになるとアフタースクールでもお弁当がいり、それを家で毎日作ろうと思ったらすごい金額が嵩んでくるのも親としては分かっています。なので、残菜がすごく多いというのが、ちょっとショックといいますか本当にもったいない。このことを考えると家での食事のあり方にも直結してくるのかなと思いました。家での朝や夜、休みの日の食生活をきちんと親も学校の給食に任せるのではなくて、普段からの家庭でのあり方も、親としてももう少し考えていかなければいけないのかなと思って今日お話を聞きました。貴重なお時間いただきました。

委員：私は地元で育ちましたので、自分のころも小学校・中学校で加東の給食を食べていました。今日かなり久しぶりに給食をいただいたのですが、そのころに比べると、結構量も多くておいしかったです。私の感想で言いますと、家では子どもたちと給食について話をすることができていなかったのも、これからはどんどんしていきたいと思いました。

委員：今日はこの会議に来て話を聞かなければ知らないことばかりでした。栄養教諭が献立を考えてくれているというのはありがたいなと思いました。妻が毎日作ってくれている食事は栄養士とは違いますから偏りも出てきますし、栄養のバランスがちゃんととれている食事なのだから子どもたちにもっと食べてもらわないといけないなと思ったのと、残菜もどうやったら減るのかというところで、どうやったら子どもの食べる意識を変えていけるのかなって思いました。また、今年の兵庫県の知事選挙で、オーガニック給食のことをすごく言われていたので、いいなと思ったのですが、本当にしようとしたらどこからお金が出てくるのかとか、何かいろいろ考えさせられるきっかけになりました。本当にそんな簡単にはいかないことが多いですが、少しでも子どもの健康であったり、そこで給食を作っている方たちのやり甲斐とか、給食に関わっているものがすべてうまくいくようになれば一番いいなというのが今日の感想です。

委員：給食の残菜というのが、大きな課題になっています。子どもたちの好きなメニューばかり出せば残菜が減るのかもしれませんが、ただ、食の経験というか、家であまり作らない、食べないようなものとか、伝統的なものとかっていうのは、給食で経験している子どもたちがたくさんいるのではないかと感じています。そういうことを大事にしながら、じゃあどうやったら子どもたちはしっかり食べるのか、作ってくださる方への感謝であるとか、十分に食事ができない境遇の子どもたちのことであるとか、いろんな観点から子どもたちにもっと考えさせて、ありがたく食事をいただくという大切な習慣を身につけていかなければと感じています。頑張ります。

事務局：皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

【閉会】

・あいさつ 田中教育振興部長